

クビアカツヤカミキリにご注意を!!

特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害が岡山県でも確認されました
この虫はサクラやウメ、モモなどバラ科の樹木を食害します



胸部（クビ）が
赤色

体は光沢のある
黒色
約2～4cm

フラスは
うどん状で
排出される



幼虫がフラス
(木くずと糞の混合物)を
排出する

見つけたら

“成虫は殺虫剤か踏みつけて駆除して”
“フラスは形がハッキリ見える写真を撮って”
岡山県または発見場所の市町村にご連絡ください

連絡先：クビアカツヤカミキリ生息疑い連絡フォーム（岡山県電子申請サービス）▶



特定外来生物は生きたままの運搬や飼育が禁止されています

クビアカツヤカミキリとは？

サクラ・ウメ・モモ・スモモ等の主にバラ科の樹木を加害するカミキリムシで、特定外来生物に指定されています。

サクラ被害木根元



画像：兵庫県

モモ被害木断面



画像：(株)エコネットむねざね



画像：兵庫県

4月～10月に幼虫は樹の内部を食べ、木くずと混ざったフン（フラス）をそうめん・うどんのような形にして大量に排出しながら成長します。

成虫は5月末～8月に活動し、樹皮に1000個近くの卵を産みます。

フラスの見分け方



画像：兵庫県

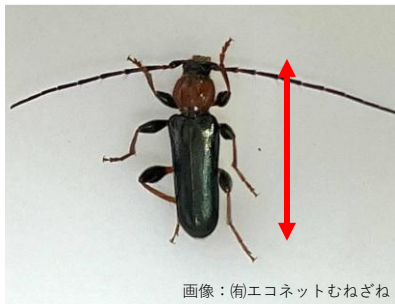
クビアカツヤカミキリのフラス
繊維状の木くずが見られない



他種のフラス
繊維状の木くずが多く見られる

間違いやすいカミキリ

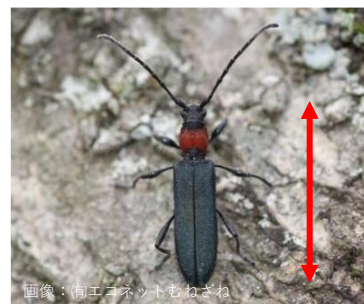
サイズにも注意！



画像：(株)エコネットむねざね

チャイロホソヒラタカミキリ

体長
6～16mm



画像：(株)エコネットむねざね

ホタルカミキリ

体長
7～10mm

被害が出たら・・・

被害にあった樹木は、連鎖被害防止のため伐採等が必要です。
被害が拡大し、桜並木を全て切り倒した事例も国内で報告されています。

- ・モモ・ウメの果樹園 → 甚大な農業被害が発生
- ・公園や街路樹、学校、文化財のサクラ・ウメ → 景観が悪化、お花見ができなくなる

いつ・どこで見つかってもおかしくありません！

クビアカツヤカミキリは、車や鉄道に付いて拡大すると考えられています。
岡山県では令和8年7月、岡山市内のサクラで、県内初の被害が確認されました。



画像：兵庫県